

京都精華大学 広報誌

木野通信

KINO PRESS.
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

issue 69

特集

京都精華大学がめざす 国際化の針路。

行動する人文学部が
教室を飛び出して研究中。

NEWS&Topics

国際学生寮開設記念講演会
ALFREDO JAAR 「IT IS DIFFICULT」

CONTENTS

特集

4 京都精華大学がめざす 国際化の針路。

8 行動する人文学部が 教室を飛び出して研究中。

10 2016年度決算および、2017年度予算について

NEWS & Topics

12 大学ニュース

15 国際学生寮開設記念講演会 ALFREDO JAAR 「IT IS DIFFICULT」

表紙写真：
Akihito Yoshida

KINO PRESS.
KYOTO
SEIKA
UNIVERSITY
issue

69

グローバル化の新たな試み

学長 竹宮恵子

(マンガ学部ストーリーマンガコース教員/漫画家)



「国際化」「グローバル化」が叫ばれはじめてずいぶん経ちますが、いろいろな解釈の仕方があり、定義づけの難しい言葉です。大学のグローバル化においては、外国人留学生の受入数や交流事業の頻度といった数字に注目が集まりやすいものですが、真に重要なのは学生の意識や、国際交流のありようです。これらは数値化が難しいですが、あえて挑戦し、迫ってみよう！という発想から、本学のグローバル化の取り組みがスタートしました。

そもそも日本人学生は、留学生と仲良くなりたい、異文化に触れたいという思いがあるにも関わらず、自分から距離を置いてしまうところがあります。英語をうまく話せない、失敗したら恥ずかしいといった不安が先立ってしまうのでしょうか。気持ちはわからなくもありませんが、そこを自分で乗り越えなければ、関係性を深めることはできません。

この春開設した国際学生寮・修交館（しゅうこうかん）は、学生自身がその重要性に気づき、国際感覚を養うことができる場所。留学生と日本人学生がヘアになり、ひとつの部屋で生活をともにするしくみなので、言葉や生活習慣、宗教などの違いから、大小さまざまな問題に直面することになります。学生たちにとっては試練にほかなりませんが、そうした経験こそが、お互い壁を乗り越え、心を通わせる上での大切な学びとなるはずです。

おかげさまで学生寮は初年度から満室となり、独創的な取り組みとして外部の方からも高い評価を受けています。今後は、人文学部の学生を対象とした海外研修（フィールド・プログラム）や、学内の異文化交流拠点（iC³）など、これまで継続的に行なってきた取り組みとともに内容を充実させ、国際交流の活性化をめざしていききたいと思います。

京都精華大学がめざす国際化の針路。

京都精華大学では約5年で留学生数が25%も伸び、2017年度からは国際学生寮の運営、人文文学部のフィールド・プログラムが動きだすなど、国際交流を活性化する取り組みが立て続けにはじまっています。立案者のひとり、国際教育センター長の北脇学さんに聞きました。

自分自身を知るための国際化

——日本の大学全体で、グローバル人材育成という言葉が叫ばれています。京都精華大学が国際化をめざすうえで指針のようなものはありますか？
北脇 20年以上前からそういった動きが盛んになりましたが、「グローバル人材」の定義も十分に議論されておらず、正直、今でも違和感をもつ言葉でもあります。精華大は開学当初より国際主義を掲げてきましたが、世界の相互依存がますます深まるなかで、この「グローバル人材」の育成に向けてどう向き合っていくかを問い直すタイミングでした。そこで2014年に「グローバルビジョン」という方針を立て、翌年よりプランを実行に。ビジョンを端的に言う「キャンパスのグローバル化であり、「多様性を学び合うコミュニケーション」

——「多様性を学び合う」とは、どういうことですか？
北脇 学生は異なった文化とぶつかり合う環境のなかで、多くのことを学んでくれます。さまざまなバックグラウンドをもつ人がキャンパスに集うことは、深い学びの機会を提供することに繋がります。ここでいう「文化」とは、人種・国籍・民族性だけでなく、社会的な階層や障がいの有無、LGBTなどのセクシャリティも含みます。価値観の異なる他者と出会うことで、自分との違いに気づき、自身を深く見つめることができます。多様性を学ぶことは、教育の本質だと考えています。

——北脇さんは、大規模な総合大学でも国際交流を推進されてきました。精華大の独自性をどうみていますか？
北脇 開学した当時から、教職員も学生も時代や社会に対する問題意識の強



国際教育センター長
北脇 学

京都精華大学の国際教育に長く携わり、海外長期フィールドワークなどの国際教育プログラムの開発と運営に携わる。明治大学・国際連携機構の教員を経て、再び京都精華大学へ。



インドネシアの都市、バンドンの街並み。2017年度より、人文文学部のフィールド・プログラムがはじまり、23名の学生が海を渡って半期間の現地調査へ繰り出した。

photo by Akihito Yoshida

1. ic³ (アイシーキューブ)



キャンパス内の異文化交流の拠点として設置された「ic³」。留学をひかえる日本人学生と精華大を訪れる外国人学生を中心ににぎわう。

——異文化交流の拠点「ic³」
——キャンパスのグローバル化にひと役かっているものに「ic³ (アイシーキューブ)」があると思います。

北脇 〇は学生たちが自主的に学ぶことができる学習スペースとして2015年に設置しました。外国語学習に加え留学生の相談や支援を行ったり、日本人学生に海外プログラムへの興味を惹かせたり、キャンパス内で楽しく異文化と接することが目的です。じつはこの構想を描いていた同時期に、学生からも声があがりました。あるオランダ人の留学生が、自分の日本語を伸ばすためとみんなのために居場所がほしいと。大学の方針とも合致していましたし、なにより「とりあえずやってみよう」という気持ちで、場所の手配と簡単なサポートからはじめました。——押し付けでないところに「精華大らしさ」を感じますね。
北脇 大切にしているキーワードのひとつが「プレイフル」です。まずは、異文化交流を「楽しい」と感じてもらうことが大事。食を通じたコミュニケーションをしたり、飛び入り参加できるパーティーがあったりとか。むしろ楽しく気構えずに、気軽さが最初の一步になると思います。
——〇では具体的にどのようなイベントを行っていますか？
北脇 昼休みにランゲージ・アワーを行っています。月曜が韓国語、火曜から木曜が英語。英語といっても欧米出身者だけでなく、南アフリカや南米の学生も参加していて、とても多様な文化と接することができます。そうした定期的なイベントのほかに、「マインドフルネス」に関するセミナーや世

界的に活躍するベルギーの詩人を招いた創作に関するワークショップなども開催しています。
——日本人学生に与える影響はどうでしょう？
北脇 ここを踏み台として、海外留学へ飛び出す学生もいます。語学力を伸ばしたい、事前に現地の慣習やマナーを知りたい、という学生にとっては異国に慣れ親しむための良いステップになると思います。しかし何より、海外に行かなくても、キャンパスにいながらにして文化の多様性を学ぶ場として活用してほしいと思います。
——らしい、留学プログラム
——受入・派遣に関わらず、精華大の国際プログラムはとても充実していると聞きました。
北脇 近年は短期のプログラム開発に力を入れ、2016年には短期受入のサマープログラム「KYOTO INSPIRATION」を新たにスタートしました。海外在住の学生を中心に20名程度の人数を受け入れ、日本のポピュラーカルチャーと伝統芸術を学ぶという新しい試みです。参加した方からは「楽しみなことができた」と評価を受け、手応えを感じています。ここに精華大の学生も巻き込んでいきたいです。
——精華大の留学生にはどういった特徴がありますか？
北脇 これは日本人学生とも共通して



2. KYOTO INSPIRATION

2週間の短期受入プログラム「KYOTO INSPIRATION」。海外の学生たちに、精華大が強みとするポピュラーカルチャーや京都の伝統芸術との接点を生む。

いるのですが、精華大の学生はアートやデザイン、マンガ、音楽など好きでしようがない世界をもっていて、それをずっと続けていきたいという思いが強い。ビジネスでの安定や成功のみを求めているだけでなく、将来のビジョンを明確にもって追求しています。
——日本人学生向けの短期プログラムはどのような内容でしょうか。
北脇 最近では低予算で参加できる短期プログラムの開発を進めました。コンセプトは一週間でも目からウロコが落ちるような「気づき」のある旅。たとえば貧しい人に融資するバングラ

寮生のお部屋探訪

国際学生寮・修交館は、留学生と日本人学生が2人1室で暮らす混住寮。期待と不安が入り混じる寮生たちの生活をのぞいてみました。

日本人学生



森田滉介さん
マンガ学部ストーリーマンガコース

僕の両親は海外の友達が多くて、自分もそうなりたいたいと思ひ、入寮を希望しました。英語が苦手なこともあり、最初は不安でいっぱいでしたが、マンガやアニメといった共通の話題を通じてすぐに打ち解けることができました。その反面、国の政治について積極的に意見を交わしたり、戦争について真剣に考えている人がいたり、育ってきた文化の違いを体感することも多々あります。でも、そこがまたおもしろくて、いろいろな文化を知りたいという探究心も湧いてきました。



上坂好乃さん
芸術学部造形学科

入学前から海外留学をめざしています。寮の募集を見つけたとき、今のうちから留学生と暮らす経験をして視野を広げたいと思ひ入寮しました。日本語も上手で勉強熱心なウサバディと過ごしていると、もっとがんばらなくちゃという意欲が湧いてきます。実際に絵を描く時間が増えるなど、自学の習慣ができました。自炊が得意な留学生も多くて、生活面でも見習うべきところが多いです。今後はさらに交流を深めて、寮の一期生として全員でなにかを残せたらいいな、と思います。



井草智香さん
デザイン学部デジタルクリエイションコース

親の勧めで入寮を決めたものの、留学生との共同生活になじめる自信はありませんでした。人見知りするタイプだし、英語もうまく話せないし、どうしよう……って心配していたけれど、今となっては取り越し苦労でしたね。基本的にみんな自分のペースで動いているので、無理に周りに合わせる必要もなく自然体でいられます。気軽に友達を誘えるようになったり、食わず嫌いだっただキムチも大好きになったりと、周りの影響を受けて自分が変化しているのを感じます。

寮生活をサポートする上級生がともに暮らしています。

レジデント・アシスタント **松之内星哉さん** 芸術学部立体造形コース

以前フィンランドへ留学していたときに、寮の世話係だった現地の学生にいろいろと助けてもらったので、今度は自分が留学生を支えたいと思ひました。最初の1ヵ月くらいは、ルームメイトと生活リズムが合わないといった問題が

続出して大変でしたが、事情をよく聞いたうえで寮生と相談しながら、ルールをつくっていきました。日本人の学生にとっては英会話の実力をつける絶好のチャンスなので、それを促すような仕掛けをつくらうと画策中です。



留学生



ジョン・ミンウクさん
マンガ学部新世代マンガコース
出身:韓国

もともと日本の学生と一緒に暮らすことに興味があり、大学のWebサイトでこの寮のことを知ってすぐに応募しました。寮生は日本人も留学生もみんな個性的で、よい刺激になっています。平日は大学と寮で過ごすことがほとんどですが、休日は自転車で街へ出かけたりもします。これからも寮生活を楽しみながら、京都のいろんなものを見て回り、感性をみがいていきたいですね。そしていつか、人の心を動かすような素敵なマンガを描けるようになりたいです。



サイサニット・ウサバディさん
芸術学部造形学科
出身:ラオス

実家が織物業を営んでおり、その跡を継ぐためにテキスタイルの勉強をしています。同室の上坂さんとはとても仲良しになりました。覚えてきた日本語の正しい使い方を教えてくれたり、学びの分野が違うので、制作でも良い刺激をもらっています。いまは入学したばかりで授業が忙しいのですが、落ち着いたらみんなとラオス料理をつくったりして、ゆっくり話をする時間をもちたいと思っています。



コ・ミソンさん
マンガ学部アニメーションコース
出身:韓国

寮に入る前はどんな人と同室になるのかドキドキしていましたが、井草さんはとても気さくな人で安心しました。「これは日本語で何て言うの?」と井草さんに聞くこともよくあります。自室以外に多目的室で過ごすことも多いですね。同じコースの人がいるときは課題についてアドバイスをもらったり、一緒にアニメを観たりしています。寮にいただけで十分楽しいけれど、みんなでいろんなところに出かけて京都を満喫したいです。

—— イッシユのグラミン銀行でその運営について学んだり、マザー・テレサがつくったマザーハウスでボランティアをしたり。単なる語学留学や観光旅行ではできない、世界観が一変するような体験を取り入れています。
—— **なんだか、らしい、留学プログラムですね。**
北脇 個性あふれるプログラムは以前からあり、その流れを受け継いでいます。そういえば昔のことですが、タイでのフィールドワーク・プログラムで留学してその後、卒業してから住みついてしまう学生が30人近くいて、タイのチェンマイに「精華村」ができたこともありました(笑)。いまは彼らのネットワークに助けられることもあるんです。

生活が学びに。新しい寮のカタチ。

—— **今年度オープンした国際学生寮・修交館にも、学生が入寮して生活をはじめました。設立のねらいはなんですか?**
北脇 もともとあった留学生寮の老朽化もありましたが、グローバルビジョンの展開について考えているなかで国際寮の構想が立ち上がったんです。日本人と留学生の2人1室の混住寮とし、生活のなかで起こりうる異文化摩擦から自他の文化のありようを学ぶ。つまり、「生活寮Ⅱ教育寮」という考え方です。
—— **異文化摩擦と聞くと耳触りのよ**

DATA

- 場所: 京都市左京区岩倉幡枝町(大学から徒歩10分)
- 部屋数: 35室(留学生35名、日本人学生35名の混住型)
※車椅子の方にはバリアフリールームを設けています。
- 対象者: 学部1年次生(留学生、日本人学生)、海外協定校からの交換留学生
- 入寮期間: 1年間
- 費用 入寮費: 10,000円 寮費: 20,000円/月
共益費: 5,000円/月 火災保険料: 約5,000円/年

初年度となる2017年度は、日本人学生35名、留学生34名の計69名が入寮(内、学部1年生が54名、レジデント・アシスタントが4名、交換留学生が11名)。国籍は、韓国、中国、アメリカ、オランダ、タイ、台湾、マレーシア、ラオス、オーストラリア、ドイツ、フィンランドの計11カ国にもおよび。



寮内の交流スペースでは、落語や武道といった日本の文化を知ることができるイベントを定期的実施している。

—— **私が精華大の未来を考えると、いつも描かれるイメージがあるんです。教職員と学生が一緒にあって、理想とする大学教育のあり方を論じている姿です。それが結実し「セイカ・コミュニティ」をつくりあげてきましたから、グローバルなキャンパスを創造していくという課題に対しても、不可能なことは何もないように思えますね。**

3. 国際学生寮・修交館



—— **くない言葉ですが、ある種のトラブルも経験になると。**
北脇 日本人同士でさえ共同生活となると、ぶつかり合いは起きます。しかし、それも含めてお互いの価値観を理解し、受入れ、着地点を見つけることに意義があります。生活に関しては、上級生が「RA(レジデンス・アシスタント)」というサポート役になり、学生だからわかる細やかな部分を支援します。彼らのリーダーシップ教育も国際寮の目的のひとつです。
—— **寮独自の教育プログラムがあると聞きました。**
北脇 「異文化の理解」「日本という国の文化理解」「ボディ&マインドバランス(健康マネジメント)」という3つの教育コンセプトで独自のプログラムやセミナーを実施してい

ます。たとえば、日本文化を学ぶために武道や落語の講師を呼んだり、自分自身の夢を実現するためにどのような戦略を練るかというライフプランニングのワークショップを行った。柱のひとつに「ボディ&マインドバランス」を設けたのは、寮生活を通じて頭や身体をフルに使って健康的な生活を実現し、大学でのさまざまな学修をより血肉化することができる考えたからです。
—— **ビジョンがひとつずつ実現していくなかで、この先、精華大の国際化の未来に何を描いていますか?**
北脇 国際寮は70人の寮生だけの限定したコミュニティにしたいんです。寮で得た体験を続々とキャンパスに広げていってほしい。この留学プログラム、国際寮、それぞれが独自に発展するけれども、すべてがひとつの方向に向いているんですね。その萌芽となるのは多文化を学ぶキャンパスというコミュニティづくり。その意味では、まだまだ課題があります。

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	26,266,240,308	26,871,859,271	△ 605,618,963
有形固定資産	17,902,629,646	17,963,922,890	△ 61,293,244
土地	4,227,871,496	4,227,871,496	0
建物	11,401,706,628	11,368,724,299	32,982,329
構築物	224,024,122	268,098,052	△ 44,073,930
教育研究用機器備品	906,659,294	966,915,020	△ 60,255,726
管理用機器備品	26,865,255	29,834,643	△ 2,969,388
図書	1,115,315,110	1,102,240,439	13,074,671
車両	187,741	238,941	△ 51,200
特定資産	7,883,540,000	8,205,499,000	△ 321,959,000
第3号基本金引当特定資産	150,000,000	150,000,000	0
退職給与引当特定資産	1,357,457,000	1,353,977,000	3,480,000
減価償却引当特定資産	6,376,083,000	6,701,522,000	△ 325,439,000
その他の固定資産	480,070,662	702,437,381	△ 222,366,719
電話加入権	3,633,424	3,633,424	0
ソフトウェア	44,615,491	61,417,145	△ 16,801,654
有価証券	200,000,000	400,000,000	△ 200,000,000
長期貸付金	227,056,427	232,571,492	△ 5,515,065
保証金	4,765,320	4,815,320	△ 50,000
流動資産	3,285,594,293	2,596,865,825	688,728,468
現金預金	2,981,076,200	2,131,998,550	849,077,650
未収入金	212,920,068	386,313,376	△ 173,393,308
貯蔵品	13,199,027	10,902,323	2,296,704
短期貸付金	29,816,474	30,014,088	△ 197,614
立替金	3,219,028	3,854,820	△ 635,792
前払金	34,347,798	9,499,238	24,848,560
仮払金	11,015,698	24,283,430	△ 13,267,732
資産の部合計	29,551,834,601	29,468,725,096	83,109,505

2017年度予算について

事業活動収支予算書 (単位:円)

教育活動収支		科 目	金 額		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,544,373,000		
		手数料	33,250,000		
		寄付金	36,300,000		
		経常費等補助金	419,968,000		
		付随事業収入	314,841,000		
		雑収入	69,202,000		
		教育活動収入計	5,417,934,000		
		科 目	金 額		
		人件費	3,000,859,000		
		教育研究経費	1,919,762,000		
管理経費	530,694,000				
徴収不能額等	9,200,000				
教育活動支出計	5,460,515,000				
教育活動収支差額	△ 42,581,000				
教育活動外収支	事業活動支出の部	科 目	金 額		
		受取利息・配当金	79,949,000		
		教育活動外収入計	79,949,000		
		科 目	金 額		
		借入金等利息	28,417,000		
		教育活動外支出計	28,417,000		
		教育活動外収支差額	51,532,000		
		経常収支差額	8,951,000		
		特別収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
				資産売却差額	5,130,000
その他の特別収入	8,102,000				
特別収入計	13,232,000				
科 目	金 額				
資産処分差額	15,000,000				
特別支出計	15,000,000				
特別収支差額	△ 1,768,000				
(予備費)	0				
基本金組入前当年度収支差額	7,183,000				
基本金組入額合計	△ 223,805,000				
当年度収支差額	△ 216,622,000				
前年度繰越収支差額	△ 4,572,522,432				
翌年度繰越収支差額	△ 4,789,144,432				
(参考)					
事業活動収入計	5,511,115,000				
事業活動支出計	5,503,932,000				

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	3,085,795,627	2,972,157,752	113,637,875
長期借入金	1,706,258,000	1,602,516,000	103,742,000
退職給与引当金	1,379,537,627	1,369,641,752	9,895,875
流動負債	1,788,418,699	1,986,360,624	△ 197,941,925
短期借入金	185,008,000	210,008,000	△ 25,000,000
未払金	141,765,101	161,397,685	△ 19,632,584
前受金	1,260,979,293	1,404,414,116	△ 143,434,823
預り金	200,666,305	210,540,823	△ 9,874,518
負債の部合計	4,874,214,326	4,958,518,376	△ 84,304,050
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	29,250,142,707	29,023,679,036	226,463,671
第1号基本金	28,676,142,707	28,406,679,036	269,463,671
第3号基本金	150,000,000	150,000,000	0
第4号基本金	424,000,000	467,000,000	△ 43,000,000
繰越収支差額	△ 4,572,522,432	△ 4,513,472,316	△ 59,050,116
翌年度繰越収支差額	△ 4,572,522,432	△ 4,513,472,316	△ 59,050,116
純資産の部合計	24,677,620,275	24,510,206,720	167,413,555
負債及び純資産の部合計	29,551,834,601	29,468,725,096	83,109,505

2017年度は経常支出予算の他に、風光館の外壁改修、5号館の空調機一斉入替、防災関係設備更新のための予算等を計上しています。また、黎明館コンピュータ教室の大規模リニューアルも行います。

それらの結果、単年度の事業活動収支は基本財産取得に関わる基本金組入等を含めると2億2千万円の支出超過となりますが、基本金組入前の収支は収入超過を維持します。なお、支払資金（現金・預金）は2016年度末から比べると1年間で4億4千万円の増加を見込んでいます。

資金収支予算書 (単位:円)

収 入 の 部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,544,373,000
手数料収入	33,250,000
寄付金収入	40,000,000
補助金収入	423,070,000
資産売却収入	100,000,000
付随事業・収益事業収入	314,841,000
受取利息・配当金収入	79,949,000
雑収入	69,202,000
前受金収入	1,256,382,000
その他の収入	940,410,068
資金収入調整勘定	△ 1,360,979,293
前年度繰越支払資金	2,981,076,200
収入の部合計	9,421,573,975
支 出 の 部	
科 目	金 額
人件費支出	2,981,759,000
教育研究経費支出	1,337,676,000
管理経費支出	487,269,000
借入金等利息支出	28,417,000
借入金等返済支出	185,008,000
施設関係支出	52,199,000
設備関係支出	79,744,000
資産運用支出	800,000,000
その他の支出	161,290,101
(予備費)	0
資金支出調整勘定	△ 109,500,000
翌年度繰越支払資金	3,417,711,874
支出の部合計	9,421,573,975

2016年度決算および、2017年度予算について

2016年度決算について

2016年度の事業活動収入は前年度から3億1千万円減少し、59億7千万円でした。このうち学生納付金は80.1%を占めています。

当年度は国際学生寮の修交館を新たに建築しました。これを含め、大学全体では施設整備に関わる事業に対し、5億1千万円の施設関係支出を行いました。なお、修交館の建築にあたっては、市中金融機関から3億円を借り入れました。

設備品については、風光館コンピュータ教室のパソコン機器入替や黎明館、春秋館講義室のAV装置更新、修交館の備付け家具等の準備、その他経常的な備品の充実等で9千万円の設備関係支出を行いました。これらにより、基本財産取得に関わる金額を示す基本金組入額は2億7千万円となりました。一方、第4号基本金につ

いては、4千万円を取り崩しました。

事業活動支出（人件費・経費等）は58億円で、当年度の基本金組入前収支差額は1億7千万円の収入超過となりました。しかしながら、基本金組入後の当年度収支差額は1億円の支出超過となり、この結果、翌年度繰越収支差額は支出超過額が45億7千万円に増加しました。

支払資金（現金・預金）は前年比8億5千万円増の29億8千万円となりました。大学の資産全体としては8千万円の増加です。また、借入金の返済等により、負債は8千万円が減少しました。これらによって、純資産は1億7千万円増加しました。

以上の結果、純資産構成比率は0.3%上昇し、83.5%となりました。

2016年度決算 2016年4月1日から2017年3月31日まで

事業活動収支計算書 (単位:円)

教育活動収支		科 目	金 額		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,776,785,000		
		手数料	36,483,812		
		寄付金	29,292,059		
		経常費等補助金	437,596,426		
		国庫補助金	435,503,561		
		地方公共団体補助金	2,092,865		
		付随事業収入	464,345,814		
		雑収入	90,712,402		
		教育活動収入計	5,835,215,513		
		科 目	金 額		
教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	3,100,590,203		
		教育研究経費	2,073,590,407		
		管理経費	573,001,261		
		徴収不能額等	7,377,750		
		教育活動支出計	5,754,559,621		
		教育活動収支差額	80,655,892		
		教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
				受取利息・配当金	84,467,534
				教育活動外収入計	84,467,534
				科 目	金 額
借入金等利息	32,933,578				
教育活動外支出計	32,933,578				
教育活動外収支差額	51,533,956				
経常収支差額	132,189,848				
特別収支	事業活動収入の部			科 目	金 額
				資産売却差額	27,254,000
		その他の特別収入	18,884,093		
		特別収入計	46,138,093		
		科 目	金 額		
		資産処分差額	10,914,386		
		特別支出計	10,914,386		
		特別収支差額	35,223,707		
		基本金組入前当年度収支差額	167,413,555		
		基本金組入額合計	△ 269,463,671		
当年度収支差額	△ 102,050,116				
前年度繰越収支差額	△ 4,513,472,316				
基本金取崩額	43,000,000				
翌年度繰越収支差額	△ 4,572,522,432				
(参考)					
事業活動収入計	5,965,821,140				
事業活動支出計	5,798,407,585				

資金収支計算書 (単位:円)

収 入 の 部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,776,785,000
手数料収入	36,483,812
寄付金収入	36,917,059
補助金収入	444,196,426
国庫補助金収入	442,103,561
地方公共団体補助金収入	2,092,865
資産売却収入	227,506,187
付随事業・収益事業収入	464,345,814
受取利息・配当金収入	84,467,534
雑収入	90,712,402
借入金等収入	300,000,000
前受金収入	1,260,979,293
その他の収入	1,744,940,829
資金収入調整勘定	△ 1,617,334,184
前年度繰越支払資金	2,131,998,550
収入の部合計	9,981,998,722
支 出 の 部	
科 目	金 額
人件費支出	3,090,694,328
教育研究経費支出	1,449,554,478
管理経費支出	531,543,878
借入金等利息支出	32,933,578
借入金等返済支出	221,258,000
施設関係支出	505,504,479
設備関係支出	90,698,119
資産運用支出	1,002,300,000
その他の支出	227,700,001
資金支出調整勘定	△ 151,264,339
翌年度繰越支払資金	2,981,076,200
支出の部合計	9,981,998,722

2017年度入学式にて京都精華大学学長賞の表彰式を執り行いました

4月1日に行われた入学式において、「2016年度京都精華大学学長賞 表彰式」を開催。本学の名誉を高める功績を修めた方々に学長賞、卒業生功労賞が贈られました。



受賞者
学長賞 竹腰耕平さん(作家 芸術研究科芸術専攻 博士前期課程修了)
卒業生功労賞 萩原天晴さん(マンガ原作者 マンガ学部卒業)
卒業生功労賞 七月隆文さん(小説家・作家 美術学部(現マンガ学部)卒業)

本学名誉教授の黒崎 彰が 京都府文化賞において特別功労賞を受賞

版画コースで長年教育に従事した黒崎彰名誉教授が京都府が京都文化の向上に寄与した人物を顕彰する「京都府文化賞」において、「特別功労賞」を受賞しました。特別功労賞は、文化芸術活動で顕著な業績をあげ、文化の高揚に多大な功労があった者に授与されるものです。授賞式は、2月1日に京都府公館で開催されました。



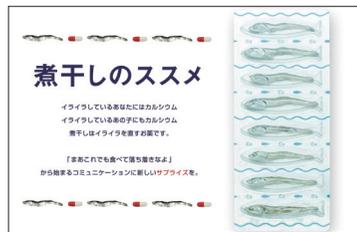
京都国際マンガミュージアム館長として『帝都物語』などの原作者、荒俣宏氏が就任

本学と京都市が共同で運営する「京都国際マンガミュージアム」の養老孟司館長が2017年度末をもって退任し、同年4月1日付けで、作家の荒俣宏氏が新館長に就任しました。荒俣氏には、幅広い知見を活かして、マンガミュージアムの魅力向上に向けた企画・運営等への御助言をいただく予定です。なお、10年間の館長職の功績を称え、養老氏には名誉館長に就任いただきます。



日本・アジア学生パッケージデザインコンペに複数の在学生たちが入賞

「ASPac Awards 2016 日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション」で、デザイン学部ライフクリエイションコース4年生の永井美波さんと同コース3年生の山根正幹さんが入選。佳作にもデザイン学部グラフィックデザインコースの学生が複数名選ばれました。



平成28年度学まちコラボ事業 最優秀団体に学生有志団体が認定

2017年3月26日に開催された「平成28年度学まちコラボ事業報告会」で、マンガ学部3年生の杉浦沙貴さんが代表となり、



人文学部教員の田村有香が顧問をつとめる「京都精華大学京北宇津宝がし会」が最優秀団体に認定されました。同会は2013年から4年連続で採択されており、その継続性と地域への貢献度が高く評価されました。

在学生・卒業生たちが「2016京展」で入賞

「2016京展」において、芸術学部の在学生・卒業生が各賞を受賞しました。在学生の入賞者は次の通りです。立体造形コース 3年生 総村萌さん(彫刻部門 館長奨励賞)、陶芸コース 4年生 井尻杏那さん(工芸部門 館長奨励賞)、版画コース 4年生 田中美奈さん(版画部門 館長奨励賞)。ほかにも多数が入選を果たしています。



工芸部門 京都市美術館賞 受賞
「陽の下の星たち」
増田晴香 (芸術学部 テキスタイル分野 卒業)

NEWS & Topics

大学ニュース

在学生や卒業生の活躍、大学の取り組みなど、
京都精華大学の最新情報を紹介します。
※本文中の学年表記は受賞、取組時のものです。

2016年度 京都精華大学 卒業・修了制作展を開催 ポピュラーカルチャー学部は初の卒業制作展

2月15日～19日の5日間、「2016年度 京都精華大学 卒業・修了制作展」を開催しました。会場は、京都市美術館、京都国際マンガミュージアム、本学の3会場。2013年4月に開設したポピュラーカルチャー学部にとっては初めての卒業制作展となり、期間中、同学部客員教員である藤原ヒロシのトークイベントやライブなども行いました。



「このマンガがすごい! 2017」のオトコ編1位にマンガプロデュースコース卒業生の作品が選出

『このマンガがすごい! 2017』のオトコ編1位に、マンガ学部マンガプロデュースコース卒業生・萩原天晴さん原作の『中間管理録トネガワ』が選ばれました。同作は、福本伸行氏によるマンガ作品『賭博黙示録カイジ』に登場する利根川幸雄を主人公に据えたスピンオフ作品。中間管理職である利根川の苦悩と葛藤がギャグタッチで描かれています。



『このマンガがすごい! 2017』
(宝島社)

「MADE IN OSAKA CM AWARDS」においてアニメーションコース1年生のグループが入賞

マンガ学部アニメーションコース1年生有志グループの作品『君に新しいスポーツドリンクを!』が、『MADE IN OSAKA CM AWARDS』TVCM学生部門において「アニメーションクラフト賞」を受賞しました。同部門は広告制作を志す学生を対象として実施されています。スポーツ飲料「C.C.スポーツ」のCMを制作した受賞作では、夏の部活をイメージしたさわやかな青春が描かれました。



レストラン列車「丹後くろまつ号」ほか 京都丹後鉄道の音楽を人文学部教員が作曲

人文学部教員・小松正史が京都丹後鉄道を運行するWILLER TRAINS株式会社と協力し、丹後くろまつ号内の



BGMや列車の発着メロディほか、京都丹後鉄道のサウンドデザインをリニューアルしました。音による価値の創成(サウンドブランディング)の観点から、丹後ならではの風景や音に注目した作品で、待合室や列車内を演出しています。

MKボウル上賀茂内フットサルコートに 学生手描きの全幅24M 巨大アート作品を設置

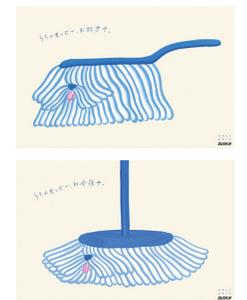
デザイン学部イラストコース3年生の小林真優さんが、エムケイ株式会社との産学連携事業の一環として、地域のさまざまな年齢層が集うアミューズメント施設「MKボウル上賀茂」内に幅24メートルの巨大手描きアート



作品を設置しました。小林さんは、複数のデザイン案から選考・打合せを重ね、1カ月半かけて作品を完成させました。

学生が「第84回毎日広告デザイン賞」の一般公募／広告主課題の部学生賞を受賞

第84回毎日広告デザイン賞一般公募／広告主課題の部において、デザイン学部グラフィックデザインコース4年生・中野ゆかりさんと、イラストコース4年生・藤井ちひろさんの作品が学生賞を受賞。この部門では、協賛広告主から出された課題に基づき、応募者が新聞広告を制作するもので、二人は、犬に見立てたモップをデザインしました。



産廃処理・3R等優良事業場認定制度に 本学が3年連続で認定

本学の取り組みが、京都市の実施する産廃チェック制度において3カ年連続で優良認定され、表彰を受けました。具体的な取り組みとしては、授業内での資源の再利用、有害な薬品を使用しない技法の実施などを実践しています。また、学生食堂で余った野菜屑をデッサン用の飼育動物の餌にするなど、大学全体でごみの削減に努めています。



「東アジア文化都市2017 京都」の現代美術展に卒業生・修了生が出展

日中韓の各政府が選定した都市が1年間を通じて様々な文化芸術イベントや交流を行い、文化の力で東アジアの相互理解や連帯感の促進を図る「東アジア文化都市2017京都 —アジア回廊— 現代美術展」に、2006年に大学院芸術研究科博士前期課程を修了した花岡伸宏さんをはじめ、卒業生・修了生が多数選出されました。



撮影：内堀義之
※卒業生アーティストグループ「hyslom (ヒスロム)」

「第13回ACジャパン広告学生賞」で 学生が準グランプリ、優秀賞を受賞

アニメーションコースの学生グループ作品が、「第13回ACジャパン広告学生賞」テレビCM部門で、「準グランプリ」、「優秀賞」を受賞しました。受賞作品はいずれもアニメーションコース2年生の授業「ストップモーションアニメーション実習」で制作したもの。準グランプリ受賞作品『チキンの一生』は、2017年7月よりBS9局にて1年間オンエアが予定されています。



イベント紹介

国際学生寮開設記念講演会

ALFREDO JAAR 「IT IS DIFFICULT」

世界各国の留学生と日本人学生がともに生活する国際学生寮・修交館。その開設を記念し、世界的に活躍するアーティスト、アルフレッド・ジャール氏を招いた講演会が4月24日(月)に行われました。アーティストについての考え方や自身の作品に込めた思いなど、会場に集まった多くの人々にメッセージを発信しました。

本学から徒歩10分の立地に、2017年3月より開設した国際学生寮・修交館。留学生と日本人学生がともに暮らすこの学生寮は、同時に、生活を通しての交流によって国際感覚を磨き、さまざまな価値観に触れ、多文化を学ぶことができる実践的な教育の場としても機能します。

今回 その開設を記念した講演会を開催。登壇者にはチリ共

和国で生まれ、現在はニューヨークを拠点とする注目のアーティスト、アルフレッド・ジャール氏をお招きしました。

ヴェネツィア・ビエンナーレへの4回の参加をはじめ、サンパウロ、ドクメンタなど大規模国際展への参加、ニューヨークのニュー・ミュージアム、ベルリンのナショナルギャラリーなどの欧米の主要な現代美術館で個展を開催するなど、ジャール氏は建築家、映像作家として世界各国で活躍しています。その作品は、世界各地で発生してきた紛争や暴力といった問題を扱っているものが多く、現在、緊迫を増す世界情勢の中、ジャール氏に登場いただくこと、そしてその作品を紹介する意義は非常に大きいものであると考えられます。

森美術館 金沢21世紀美術館に続き行われた本学の講演会は、学内外から150名を超える多数の聴衆が参加。講演の冒頭、ジャール氏は「アーティストは思想家である」と主張されました。その根拠にあるのは、ジャール氏にとつての芸術に対する考え方や制作に対する姿勢です。ジャール氏は「99パーセントが(考えること)で、1パーセントが(つくる)こと。99パーセントの(考えること)に費やし、その最後の最後に何かをつくるのです。これは、自分の考えをだれかに伝えるための最も適した手法であると考えています」と話してくれました。

その後に行われた作品紹介では、ギャラリーや美術館といったホワイトキューブで発表した作品ではなく、東日本震災やシリア難民に関する作品を含む「パブリック・インターベンション」と呼ばれる公共空間に大胆に介入するプロジェクトを丁寧に紹介してくれました。講演後の質疑応答では、観客からの積極的な質問にもたいへん丁寧に答えてくださり、ジャール氏の説得力ある力強いスピーチがとて印象的な、すばらしい講演会となりました。

(芸術学部教員 小松敏宏)

学内イベント情報
どなたでも参加いただけます。

2017年度

「京都の伝統美術工芸」講座7月開催分

●現代に生きるふろしき

山田悦子氏(ふろしき製造卸 山田織維株式会社取締役、広報部アートディレクター)

7月20日(木)

●伝統産業とインベンション

～伝統産業の展開と可能性～

米原有(本学教員)

7月27日(木)

各回13時～14時30分

【場所】

京都精華大学 黎明館1階L101

【問い合わせ先】

京都精華大学 教務チーム

TEL:075-702-5119

※10月以降のプログラム詳細は、大学ウェブサイトでご確認ください。

ギャラリーフロール展覧会

「高見鳥ー京都・日常の果て」

出品作家 APP ARTS STUDIO/内田晴之十小川文十田辺 桂 後藤靖香、田辺桂、中島伽耶子、MUDA、山本基、若林亮

【日時】

開催中～7月15日(土) ※日曜休館

11時～18時

【場所】

京都精華大学 ギャラリーフロール

【問い合わせ先】

京都精華大学 ギャラリーフロール担当

TEL:075-702-5283

山岸涼子展「光てらす」
メタモルフォーゼの世界

【日時】

開催中～6月30日(日)

【場所】

京都国際マンガミュージアム

【問い合わせ先】

京都国際マンガミュージアム

TEL:075-254-7414

デザイン学部
ビジュアルデザイン学科 客員教員
石川九穂 連続「公開」講座

「表現とはなんだろう? 石川九穂の作品論」

【日時】

10月9日(月・祝)、11月27日(日)、12月11日(月)

各回13時～14時30分

【場所】

京都精華大学 春秋館2階S201

【問い合わせ先】

京都精華大学 教学グループ

教務チーム

TEL:075-702-5119

オープンキャンパス

【日時】

7月29日(土)、30日(日)、9月10日(日)、12月10日(日)

各日11時～16時

【場所】

京都精華大学

【問い合わせ先】

京都精華大学 広報グループ

TEL:0120-075017

※7月は授業の成果発表展・報告会を同時開催します。

ぜひお越しください。

ご支援くださるみなさまへ ～ご寄付のお願い～

様々な支援に関して、ご寄付のご協力をお願いしております。

「学生奨学金制度への支援」、「学生生活への支援」、「文化振興活動への支援」、「国際交流活動の支援」、「教育・研究設備整備事業への支援」より寄付用途を選んでいただき、みなさまのご意向にかなう運用をしています。お申し込みは、銀行窓口、もしくは、インターネット上でのクレジットカード決済にてご寄付いただけます。この寄付金は、文部科学省から「特定公益増進法人であることの証明書」の交付を受けており、税金控除の優遇措置を受けることができます。詳細につきましては寄付募集 Web サイト、リーフレットをご覧ください。

●寄付募集 Web サイト

www.kyoto-seika.ac.jp/donate

●お問い合わせ

京都精華大学経営企画グループ寄付募集担当

TEL 075-702-5201 FAX /075-702-5391

E-mail:kikaku@kyoto-seika.ac.jp

卒業生の方へ

●京都精華大学の情報は Facebook でも

お知らせしています。

www.facebook.com/KyotoSeikaUniversity

●「木野通信」送付先住所の変更は、 経営企画グループ木野会事務局まで ご連絡ください。

E-mail:kinokai@kyoto-seika.ac.jp

FAX:075-702-5391

京都精華大学

芸術学部	[造形学科] 洋画専攻 日本画専攻 立体造形専攻 陶芸専攻 テキスタイル専攻 版画専攻 映像専攻
デザイン学部	[イラスト学科] イラストコース [ビジュアルデザイン学科] グラフィックデザインコース デジタルクリエイションコース [プロダクトデザイン学科] プロダクトコミュニケーションコース ライフクリエイションコース [建築学科] 建築コース
マンガ学部	[マンガ学科] 新世代マンガコース カートゥーンコース ストーリーマンガコース キャラクターデザインコース [アニメーション学科] アニメーションコース
ポピュラー カルチャー学部	[ポピュラーカルチャー学科] 音楽コース ファッションコース
人文学部	[総合人文学科] 文学専攻 歴史専攻 社会専攻
大学院	芸術研究科 デザイン研究科 マンガ研究科 人文学研究科

木野通信

KINO PRESS.

木野通信 第69号
2017年7月14日発行

京都精華大学 広報グループ

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

TEL075-702-5197 www.kyoto-seika.ac.jp